

令和5年度 学校評価一覧

小坂町立小坂小学校
小坂町立小坂中学校

学校教育目標		「生きる力」と「ふるさとを愛する心」をもった児童生徒の育成 ～つながり、かかわり、豊かに学ぶ～																				
評価項目	具体的内容	自己評価A		外部評価		評価指標	実践課題	主な取組	主な担当	自己評価B		外部評価										
		前期	年度末	前期	年度末					前期	年度末	前期	年度末									
児童・生徒の状況	1 学ぶ力・基礎学力の向上	意欲的に学習に臨み、基本的学習習慣を身に付けて、学力を向上させようと努力している。	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	①意欲的な学習への取組	主体的に学習に取り組む意欲と態度の向上 「問い」を発する力や読解力の向上 学びのサイクルづくり	「学習の約束」の確認と定着、小坂スタンダードの推進 “あかしあ”のある授業、言語活動の充実、読書習慣の定着 家庭学習の手引き、家庭学習強調週間、全教員による家庭学習点検	研究部 学習指導部	3	3	3	3								
							②学力の定着・向上	諸検査や学習状況調査の活用 諸検査や学習状況調査の回復指導	類似問題の活用、パワーアップタイム等を活用した学習指導 諸検査結果の検証、弱点克服に向けた回復指導		研究部 学習指導部	3	3	4	3	3	3					
	2 自主的・自律的な生活	自他の関わりを深め、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら豊かな人間性を育み、自律的に学校生活を送っている。	おおむね良好	良好	良好	良好	③開かれた心と自立心	良好な人間関係を築こうとする意識の向上 他人を思いやる心、人のために尽くす姿勢と行動力の育成	授業や短学活での場づくり、学校生活アンケート ボランティア活動、施設訪問、地域行事への参加	特活指導部	3	3	3	3	4	4						
							④集団生活の向上	特別活動を要とした関わり合う活動の充実 児童会活動、生徒会活動等、集団としての力の向上	感動のある体験活動、課題発見・探究活動の工夫 主体的な計画と運営、活動内容の工夫、リーダーの育成		特活指導部	4	4	4	4	4	4					
							⑤居心地のよい学級生活	互いに認め合う学級づくりの推進 学級の一人としての自覚と責任の育成	学級会を軸とした話し合い活動の充実、言語環境の整備 係活動、学級活動の充実、学級力向上アンケート		特活指導部	3	3	3	4	3	4					
	3 健全な生活習慣と健やかな体	あいさつや言葉遣い、時間などを意識し、規律ある落ち着いた生活を送ろうとしている。また、食や運動を通して健康や体力について関心を持ち、健康の保持増進に努めている。	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	⑥基本的な生活習慣の形成	相手に届く元気なあいさつや返事の習慣化 規律ある落ち着いた生活づくり	集会、児童会・生徒会活動、継続的な指導 時間厳守の生活、学校生活アンケート	生徒指導部	3	3	3	3	3	3						
							⑦健全で共感的な心の育成	いじめや不登校の未然防止と迅速な対応・支援 共感的な教育相談活動の実施	児童生徒支援担当教員を中心にした即時対応、Q-Uの活用 教育相談、三者面談、関係機関との連携		生徒指導部	4	3	4	4	3	4					
							⑧健康の保持増進、食育の推進	望ましい生活リズム、食習慣の形成 主体的に健康管理を考えた生活	早ね早おき朝ごはん、食育指導の充実、メディアコントロール 病気の予防・治療指導、保健だよりの発行	生徒指導部	3	3	3	3	3	3						
								継続的な体力づくりの実践	体育の授業、業間運動、委員会活動、部活動指導		4	4										
	4 ふるさとに対する誇り・キャリア発達	郷土愛が深まり、社会的・職業的自立に必要な基盤となる資質・能力が身に付いている。	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	おおむね良好	⑨郷土愛と豊かな心	ふるさとのよさの発見、愛着心の醸成 社会を支える自覚と創造性の涵養	校外学習、地域学習、地域人材や教材の活用 総合的な学習の時間の充実	教務部	4	3	4	4	3	4						
							⑩学び、働き、生きる実感	自己理解と社会的・職業的自立の実感 将来構想に基づいて、見通しと計画をもって実践する力の育成	職業教育活動、ボランティア活動 進路学習、キャリアノート、夢コーナー		特活指導部	3	3	3	3	3	3					
	学校運営の状況	5 安全・安心	児童生徒の安全確保と危機回避意識の向上に取り組む、危機管理が組織的に進められている。	良好	良好	良好	良好	⑪安全教育と安全管理	登下校・諸活動における安全指導の徹底 危機管理(回避)意識の高揚と緊急時対応の体制整備 施設・設備の保守点検と安全確保	交通安全教室、危険箇所の確認・作成 避難訓練の計画的な実施 日常の点検及び業者による保守点検の計画的な実施	生徒指導部 教頭 総務部	3	3									
6 組織運営								特色ある学校づくりが計画的・組織的に推進されている。	おおむね良好	良好		良好	良好：きわめて良好に近い	⑫明確で責任ある運営体制	経営方針や実践課題・施策の共有化と学校評価の活用 学校課題の解決に向けた提案と責任のある組織運営	開かれた方針と評価、評価面談 PDCAサイクルを機能させた組織運営、連絡・連携の深化	校長 教頭	3	3	3	3	4
														⑬教育課程の編成・実施	小中一貫教育のよさを引き出す教育課程の編成・実施 諸活動における、子どもの心に響く指導の工夫	行事予定・週報の作成、乗り入れ授業・合同行事の実施 主体性を引き出す活動計画、活躍する場や認められる場の設定		教務部 特活指導部	4	4	4	4
		⑭事務運営	教育予算の効率的でメリハリのある運用と適正な会計処理 教員が子どもに向かう時間と場を確保するための事務支援	重点配分事項の整理と調整、諸帳簿の整理・管理 学年会計調書処理、出張関係事務等	総務部	4	4				4			4	4	4						
7 研究・研修		教育目標の実現に向けて学校力のレベルアップのために、教職員の研究・研修が行われている。	おおむね良好	良好	良好	良好	⑮研究の推進・研修の充実	互いに実践を開き高め合う研究の推進 教育諸課題解決のための研修の充実	研修の機会の確保と充実、小・中教科部会の活性化 自主研修と合同研修(生徒指導研修・特別支援教育研修等)	研究部 教頭	3	3	4	4	3	4						
							⑯授業改善	主体的な学びの姿勢を育てる授業構築・実践 学習内容の連続性や系統性を踏まえた教科指導 諸調査分析結果の日常授業への反映	小坂スタンダード“あかしあ”の実践、ねらいと整合する評価 ゴールを明確にした単元構想、見方・考え方を働かせた授業構築		研究部	3	3	4	4	3	4					
8 保護者・地域との連携		学校の取組が保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	良好	良好	⑰情報の発信	広報活動の充実	学校報、学年通信、HP、各種便り、学校メール、町広報	教頭	4	4	4	4	4	4						
							⑱地域の教育力の活用	地域人材・素材の活用、地域学校協働活動の実施	総合的な学習、ふるさと教育、クラブの時間、地域行事		4	4	3	3	4	4						

文責：校長 奈良 育

本校教育活動の年度末評価

12月に児童・生徒、保護者それぞれに、今年度2回目の学校生活に関するアンケートを行い、回答していただきました。年末を控えてご多用の中、ご協力いただき、ありがとうございました。

2月13日には、学校運営協議会(委員8名参加)で、学校評価をしていただきました。授業参観の後、保護者の皆様方からご協力いただいたアンケート結果のデータなどを参考にしながら、本校の教育活動について、運営委員の方々から外部評価とご助言をいただきました。新年度に向けて、さらなる充実・改善に生かすよう努めますので、ますますのご理解とご支援・ご協力をお願いいたします。1月15日付け文書「学校評価アンケートの回答について(お礼)」でアンケート結果数値は紹介いたしました。以下に、年度末学校評価の概要を記載しました。前述「学校評価アンケートの回答について(お礼)」とあわせてご覧ください。

評価区分と数値：きわめて良好、良好、おおむね良好、やや不十分、努力を要する

I 学ぶ力・基礎学力の向上

☆授業に対する意欲 ☆家庭学習の習慣化 ☆読書に対する意欲

自己評価：おおむね良好 外部評価：おおむね良好

【来年度の学校の主な改善策】

- ・始業式後の学習指導部からの児童生徒への講話(学習への心構え等)を今後も続けていく。
- ・授業での「ふかめタイム(小)」「共創タイム(中)」の実践はだいぶ浸透したが、新年度も「児童生徒どうしの学び合い」を重視する。
- ・ICT機器の活用ルールについては年度毎に確認していく。
- ・授業を見合う月間(6・11月)については、見に行きたくても行けない教員のためにビデオに撮る等工夫していく他、研究主任から呼びかけ、授業改善を図る。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・児童生徒と教員との関係が良く、小中乗り入れ授業やICT機器(タブレット・電子黒板等)の効果的活用を含めて授業が充実している。
- ・小中ともに特別支援学級の授業が充実しており、学校が安定していることが分かる。
- ・授業の充実ぶりや家庭学習の進め方について保護者へ周知してほしい。

II 自主的・自律的な生活

☆思いやりの心 ☆達成感や感動 ☆相手や周囲に配慮した言動

自己評価：良好 外部評価：良好

【来年度の学校の主な改善策】

- ・小中合同の委員会活動がたいへん充実し、小中の交流が増えた。新年度も充実を図る。
- ・小の全校集会がなかなか時刻通りにスタートできなかった。イスなしにする、時刻設定や内容を精選するなど工夫して、内容を加減する等、計画的に準備を進めていく。
- ・学級力アンケートは、今後もよく分析して課題解決につなげる等、有効活用していく。
- ・中のボランティア活動について、様々な形態を考えていきたい。(校内で行うものや校外で行えるものの整理や、既存の活動をボランティア化する等)

【学校運営協議会からの助言等】

- ・部活動のない水曜放課後にセパームで遊ぶ子どもたちの様子を見ると、譲り合いが見られ、小中お互いの思いやりの心が育っているのが分かる。
- ・校外ボランティア活動(町社会福祉協議会の事業等)をしている生徒もおおり、ありがたい。
- ・学校評価アンケートの保護者回答を見ると、児童生徒の成長への理解が広がっている。

III 健全な生活習慣と健やかな体

☆相手に届く元気なあいさつや返事 ☆規則正しく規律ある生活 ☆体力の向上

自己評価：おおむね良好 外部評価：おおむね良好

【来年度の学校の主な改善策】

- ・児童生徒の様子を密に共有して丁寧な見取り・支援ができたので今後も継続する。チームで対応し、一部の教員や学年部・学級担任のみが対応することのないようにしていく。
- ・年度初めに小中ともに、全校で学校生活のルールの確認を行って周知を図る。
- ・種々の問題に対してはケース会議を開いて個人ではなく全職員で対応することを進めて

いく。システム化するのではなく、どのような対応をしたのかを記録として残していく。
・部活動に関して、児童生徒だけで活動しているということのないようにする。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・クマ問題もあり、登下校で歩かない児童生徒が増えて残念だ。可能なら歩かせたい。
- ・コロナ禍で運動不足を心配したが、全体的に体力テスト結果が良好で良かった。
- ・年3回のメディアコントロール週間は、保護者も協力して、メディア機器の使い方や生活のしかた(運動・読書・手伝い等)を工夫していくことをみんなで共通理解したい。

IV ふるさとに対する誇り・キャリア発達

☆ふるさと小坂が好き ☆夢の実現に向けての取組

自己評価：おおむね良好 外部評価：おおむね良好

【来年度の学校の主な改善策】

- ・小学校では夢アンケートの実施やそれを昼の放送で紹介したのが良かったので継続する。小学職員室前の全児童の「将来の夢」掲示も今後続けていく。
- ・中学校「総合的な学習の時間」について、ねらいや内容について事前に周知していく。
- ・中学1年が十和田湖学習に主眼を置いており、2・3年の「小坂町活性化アクションプロジェクト」とのスムーズな接続も考慮しながら来年度もこの内容を継続する。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・子どもたちには、漠然とでも、こんなことをやりたいと夢をもってほしい。
- ・学校評価アンケート「ふるさとへの愛着」で、児童生徒回答の数値が高いのはありがたいが、教員回答の数値も中間から年度末にかけて高まっているのはうれしい。
- ・事業所に出かけての職業体験活動を授業でなく個人参加の形でできないだろうか。

V 組織・運営

☆小中一貫教育のよさ

自己評価：良好 外部評価：良好(「きわめて良好」に近い)

【来年度の学校の主な改善策】

- ・学校経営デザインの6つの経営戦略を今後も職員報に記載して意識付けを図る。
- ・経営反省を半年毎に各分掌・各学団で行ってきた。今後も反省・改善を継続していく。
- ・小中両教務主任が足繁く職員室間を往来して連絡調整にあたった。両研究主任の連携も頻繁で、小中合同委員会活動も盛んだった。今後も職員の小中融合を推進する。
- ・効率化や過失の防止等が図るための両事務職員による学校事務の共同実施を継続する。
- ・会議のペーパーレス化が進んだ。ICTを活用しながらさらなる効率化を目指していく。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・様々な事案に対して、学校が1人ではなくチームで対応していて良い。
- ・授業の乗り入れ、ティームティーチング、教科交換による複数学年への指導が効果的だ。
- ・スポーツ少年団や部活動の地域移行に関して町の会議が進んでいるが、指導者確保の問題や予算配分の問題、大会派遣費の問題等、難しい点が多い。

VI 保護者・地域との連携

☆学校の情報発信 ☆地域の人たちによる活動支援 ☆地域活動への参加

自己評価：良好 外部評価：良好

【来年度の学校の主な改善策】

- ・学校報・学年報・小坂町広報・ホームページ・指導部だより等の定期発行・発信を継続する。
- ・外部講師を招いたり、町内施設に出かけたりして地域との結びつきを強めたい。
- ・地域学校協働本部事業推進員が金曜常駐となったので、さらなる活用を図りたい。
- ・読み聞かせグループ「おはなしぼっくす」と連携しての読書推進を継続する。
- ・合同強歩大会がクマの影響で中止となり、PTA活動を含めて大変残念だった。来年度から高校との大きな連携はないが、マリア園との連携を今後も充実させる。

【学校運営協議会からの助言等】

- ・先生方は、負担でないかと思えるほど丁寧な保護者対応をしてくれている。
- ・地域学校協働本部活動ではボランティア協力者の理解が深まり、先生方の協力・相談もありがたかった。今後は保護者との連携活動を進めていきたい。

今年度、2回実施(7・12月)させていただいたアンケートに回答してくださった保護者の皆様や、3回開催された学校運営協議会の委員の方々にあたためて感謝しております。

本校教育活動について、年度を通した評価を受け止めつつ、低い数値の項目などについては、さらに取組等を工夫して令和6年度を迎えたいと思います。お気付きの点などございましたら、いつでも遠慮なくお知らせいただけたら幸いです。新年度もどうぞよろしくお願いいたします。